



# 協会報

2020

発行日 毎月1日 通算発行 405号

1



新春を迎えて—『令和2年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会長 小倉 淳

新春ご挨拶

子年は語る



写真提供/川口喜仙

ろっこうさき  
禄剛埼灯台<珠洲市>

明治16(1883)年、イギリス人技師の設計に基づいて建てられた石造りの禄剛埼灯台、通称狼煙(のろし)の灯台は、能登半島の先端に位置し、海から昇る朝日と海に沈む夕日が見られる絶景スポットとしても知られている。平成21(2009)年には、「安全な船舶航行に貢献し我が国の海運業等を支えた燈台等建設の歩みを物語る近代化産業遺産群」の一つに認定された。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

**石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

# CONTENTS

2020

1



石川県立  
緑剛埼灯台  
<珠洲市>

<b>1 新春を迎えて</b>	
『令和2年新年あいさつ』 (一社)石川県建設業協会長 小倉 淳	2
<b>2 新春ご挨拶</b>	
石川県知事 谷本正憲	3
国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 山田哲也	4
厚生労働省石川労働局長 松竹泰男	4
一般社団法人全国建設業協会長 近藤晴貞	4
<b>3 子年は語る</b>	
末田廣昭、高木作之、坂東久雄、谷端正宗、野村幸平、真柄卓司、寺田道生	5
<b>4 今月のトピックス</b>	
谷本知事を囲む懇談会の開催	8
<b>5 令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.1</b>	
株式会社のとさく	10
<b>6 雇用改善コーナー</b>	
金沢市立工業高校生との意見交換会の開催	12
石川県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催	12
石川県立小松工業高校生へ企業ガイダンスの開催	13
<b>7 地区協会コーナー</b>	
「ふるさとの建設産業を知ろう～ふるさが君たちを待っている～」高校生体験学習について (一社)珠洲建設業協会	14
<b>8 会員リレーコーナー</b>	
㊦株式会社石川建設	15
<b>9 今月の「輝き！」さん No.58</b>	
株式会社 北都組 大宮 <sup>はるか</sup> 榛華さん	16
<b>10 協会だより</b>	
令和元年秋の褒章 (一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介	17
(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催	17
令和元年度市町要望活動の実施	18
委員会の開催	19
土木委員会	
工事現地検討会班長会議(後期)の開催	19
建築委員会	
金沢地区安全パトロールの開催	19
土地改良委員会	
石川県農林総合事務所への施策提案	20
建設青年委員会	
全国建設青年会議第24回全国大会への参加	20
役員会並びに北陸地方整備局長との意見交換会の開催	21
<b>11 業界時報</b>	
労働災害発生状況	22
令和元年度 建設工事受注高調(元請)	22
<b>12 会員消息</b>	23
<b>13 県協会からのお知らせ</b>	23
<b>14 地区協会からのお知らせ</b>	24

## 新春を迎えて

### 『令和2年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会 会長 小倉 淳



令和2年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より国、県などの行政機関の方々、建設産業関係の方々には建設産業の振興にご理解とご協力を頂き、また当協会の活動に対し格別のご配慮を賜り心から御礼を申し上げます。

昨年も全国各地で、記録的な台風や豪雨災害が発生し、多くの犠牲者が出るとともに、各地に甚大な被害をもたらしました。改めて日本列島の脆弱さを痛感しているところです。現在、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が進められていますが、全国各地の記録的な災害発生を踏まえると、県民の安全・安心を確保するためにも、国土強靱化、地域防災力の強化を着実かつ計画的に推進し、「地域の守り手」としての社会的使命を果たしていかなければならないとの思いを強くしたところです。

一方、国の財政制度等審議会から、人口減少、維持更新コストの増加、維持・整備の担い手の減少等を踏まえれば、「量」を拡大する状況になく、

新規採択を厳選した上で、既存ストックを最大限活用する観点から「使い方」を改善すべきとの建議が出されました。これは地方の実情を理解していないものであり、多発、激甚化する自然災害に備えるためにも、防災・減災対策の継続、インフラ老朽化対策の促進など、更なる積極的な公共事業の推進が必要であると考えています。将来の起こりうる自然災害へ備えるため、今年度補正予算と来年度当初予算を適切に組み合わせて、ソフト・ハード対策を一体化した防災・減災事業が強力に推進されることを切望するものです。

今、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しています。改正労働基準法の施行により建設業は猶予期間があるものの、時間外労働の罰則付き上限規制の段階的適用が始まり、建設キャリアアップシステムの本格稼働、特定技能外国人の受け入れ、新・担い手三法も成立しました。建設業界が、将来にわたり「地域の守り手」としての役割を果たしていくため、公共投資が下げ止まり公共工事設計労務単価も7年連続で引き上げられるなど安定的に推移している今こそ、若者にとって魅力ある産業となるよう労働環境や職場環境の改善に向け、積極的に働き方改革、生産性の向上に取り組んでいく必要があります。

県協会としても、会員に「休日月1プラス運動」を呼び掛けるとともに、「生産性向上なくして建設業の再生なし」をスローガンに、一貫したICT施工の推進など建設生産システムの高度化や女性の活躍と入職を促進する担い手対策を積極的に進めております。建設産業が「給料が良い、休日が取れる、希望が持てる」新3K産業として県民・市民から認めていただけるよう、努力を重ねてまいります。

県協会として、建設業界の発展に向け行政との相互連携・協力のもと、社会インフラの整備と維持管理を通して社会的任務を果たしていく所存があります。国土交通省はじめ発注機関の皆様方より一層の御指導と、全建・各都道府県協会のご支援方よろしくお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新春ご挨拶



## 『個性、交流、安心のふるさとづくり』

石川県知事 谷本正憲

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、県民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は、天皇陛下が御即位され、元号が「平成」から「令和」に改まる、大きな節目の年であり、本県でも、北陸新幹線の開業効果の持続や、これまで整備を進めてきた陸・海・空の交流基盤が相乗効果を発揮した1年でした。

さらに、新幹線県内全線開業の年である令和5年に国民文化祭の本県開催が内定するといった朗報もありました。鋭意準備を進めてまいります。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催年です。本県ゆかりの選手の活躍を大いに期待するとともに、県内での聖火リレーや事前合宿の受け入れなどの準備に万全を期してまいります。

また、これまで磨き上げてきた石川の魅力を国内外に発信するとともに、交流基盤の整備と活用をさらに進めるほか、新幹線県内全線開業に向けて準備を加速させていく、大変大事な1年になると考えています。

北陸新幹線については、昨年の台風第19号による運休により、日本海側の大動脈であることが証明されました。引き続き、令和5年春までの確実な県内全線開業、令和12年度末の北海道新幹線札幌開業頃までの、大阪までの早期全線整備の実現に向け、取り組んでまいります。

道路網については、県内各地の幹線道路ネットワーク整備を着実に進めてまいります。

開港50周年を迎える金沢港については、3月にクルーズターミナルなどの機能強化整備が完了します。今後ともクルーズ・貨物の更なる誘致を進めてまいります。

小松空港は国際便の航空ネットワークが拡充しており、のと里山空港も利用者数が過去最高となるなど好調に推移しています。今後とも利用促進に取り組んでまいります。

国立工芸館の開館や、金沢城公園の鼠多門・鼠多門橋の復元整備については、東京オリンピック開催に向けて着実に進めるほか、金沢城二の丸御殿の復元可能性についても、検討を進めてまいります。

新県立図書館については、石川の新たな「知の殿堂」に相応しい図書館となるよう令和3年度の建物完成に向け整備を進めてまいります。

本県の経済指標は全国的にも高い水準で推移しています。引き続き、新製品開発や生産性向上などの中小企業の取り組みを支援するほか、UIターンや学生の県内就職の促進など幅広い観点から人手不足対策にも取り組んでまいります。

農林水産業については、農林水産物のブランド化や製造業のノウハウを活かした生産効率化による収益性の向上を図るほか、CSF（豚コレラ）対策にも万全を期してまいります。

安全・安心の確保については、治水対策などの防災・減災対策や、防災士の育成など地域防災力の向上に取り組むほか、県立中央病院による高度専門医療の提供や、医師・看護師の確保・養成など医療提供体制の確保に取り組んでまいります。

教育については、児童生徒の学力・体力の向上に向けた取り組みを行うとともに、教員の資質向上を図り、教育水準の維持・向上に努めてまいります。

新年を迎え、旧年にも増して県政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





明けまして  
おめでどう  
ございます



一般社団法人  
全国建設業協会  
会長  
近藤 晴貞

令和の御世になり初めての新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

去年は、担い手確保・育成に向け労働環境の改善や生産性向上などを一層推し進めるための所謂「新・担い手三法」が成立しました。さらに働き方改革関連法の施行や建設キャリアアップシステムの本格運用開始など、建設業が魅力ある産業として輝くための環境整備が多く図られ、建設業界にとって大きな転換点となる一年でございました。

今年はいよいよ「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を迎えます。前回のリオデジャネイロ大会での、日本の活躍は記憶に新しいところですが、それを超える躍進への期待や、世界中から集結するトップアスリートたちが生み出す熱狂と感動の日々に向け、着実にその気運は高まりを見せております。国内外から訪れる多くの皆さんを安全・安心にお迎えし、快適に過ごしていただけるよう、我々建設業界も開催国の一員として、「おもてなしの心」で大会の成功に貢献していきたいと思っております。

一方、地域建設業は、社会資本整備や維持管理の担い手であるとともに、災害現場の最前線で活動するなど、地域社会の安全・安心を守る「地域の守り手」としての社会的使命を担っています。

去年は山形県沖地震や九州北部での豪雨、さらには台風15号及び19号等による風水害等、全国各地で自然災害が猛威をふるい、各地に甚大な被害をもたらしました。これらの災害は、改めて我が国の防災・減災、国土強靱化に向けた対策が喫緊の課題であることを痛感させられ、さらなる強靱な国土づくりを着実に推進していき、「地域の守り手」としての使命をさらに果たしていかなければならないとの決意を新たにいたしましたのでございます。

地域建設業がこれからもその使命を果たしていくためには、働き方改革などの新たな課題への対応や、依然とした地域間格差や大企業と中小企業との企業間格差等の依然として厳しい経営環境を乗り越え、また働き方改革などの新たな課題にも的確に対応していかなければなりません。

全建は47都道府県建設業協会と一体となり、新たな時代においても、引き続き地域建設業の課題に向き合い、積極果敢に取り組んでいく所存でありますので、ご理解とご支援のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



国土交通省  
北陸地方整備局  
金沢河川国道事務所長  
山田 哲也

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

去年も災害の多い年でしたが、県民の安心安全のため、本年も石川県内のインフラ事業を全力で推進してまいります。

引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



厚生労働省  
石川労働局長  
松竹 泰男

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

石川労働局では、「安定した雇用の実現と、誰もが能力を活かし、健康に働くことができる職場づくり」の実現を図るため、働き方改革の推進、労働災害の防止対策、人手不足対策等に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。





## 子年は語る



### 末田廣昭 (昭和23年7月20日生)

株式会社 犀川組 代表取締役会長

新年明けましておめでとうございます。

令和に入り初めての新年を年男として迎えられ、また僭越ながらこのような投稿の機会を賜り感謝申し上げます。

16歳から父と現場で働き今日まで現場人間として一心に頑張ってきました。平成29年7月に社長業を息子と代わり少し楽になった今は、週末には海釣りに行き、畑での野菜作りも楽しんでおります。16歳から56年波乱曲折色々ありましたが、今日があるのは自分を育てて下さった業界の先輩方や沢山の人の出逢いのお蔭様と感謝の思いであります。昨年7月10日国土交通大臣表彰をいただくことができましたのも、これまで支えて下さった周りの皆様との賜物と身に余る光栄と思っております。昨今、建設業界の人手不足という悩みがあります。協会の皆様と一丸となって建設業界のアピールをしていかねば5年10年後は大変です。自社も業界各社も継続し発展出来る事を願い、これからは私の出来る事を頑張っていきたいと思っております。

本年も皆様にとって良い年となりますよう心よりお祈りいたします。ありがとうございます。



### 高木作之 (昭和35年1月1日生)

昭和建設株式会社 代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

光陰矢の如し、気がつくともう5回目の年男になりました。10年ほど前になりますが、知人から誘いがあり自身の健康のためにとの思いもあったので地元の山岳協会に入会しました。入会してから北は岩手山から南は屋久島の宮之浦岳まで日本百名山を12座登頂しました。その中でも記憶に残るのは宮之浦岳です。GWの休みを利用して4泊5日の行程で車を交代で運転しながら鹿児島港まで移動、2日目はフェリーに乗船し屋久島に到着、車で島を一周しながら観光しました。3日目の早朝に目的地である宮之浦岳山頂を目指し登山開始、途中雨にあいながらも無事登頂することが出来ました。泊まりは全てテント泊でハードな行程でしたがとても良い思い出になりました。今年も山の仲間たちと登山を楽しめるように健康に気をつけたいと思います。もちろん登山を楽しむのも会社の業績が順調であつてのこと、先代から引き継いだものを次の代に引き継ぐまでしっかりと頑張っていきたいと思います。今年もよろしく願いいたします。



### 坂東久雄 (昭和35年1月19日生)

共栄建設株式会社 代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

今年還暦を迎えます。平成2年に金沢に帰って来てから、早30年たってしまいました。ジャンーの法則で



言われるように、最近一年がたつのがとても速く感じておりましたところ、ついこの間、嫁に行った娘から、プレゼントがあると言われ、楽しみに大きな箱を開けたところ、赤いちゃんちゃんこが入っておりました。それでようやく自分の年齢に気が付いたところです。

昔なら定年ということであったでしょうが、今の時代60歳を過ぎてから第2の人生ともいわれます。今年は東京五輪、そして5Gへの進化など、とても楽しい年になりそうです。

これからは、お世話になった先輩方への恩返しの為、そして業界の発展に微力ながら貢献出来たらと思います。

ご縁のある皆様に感謝しつつ、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 谷端正宗 (昭和35年12月16日)

株式会社 慶伊組 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。

私自身5回目の年男を迎える節目の年となります。昭和、平成、令和と移り変わり年月の早さが特に早く感じられる年齢となりました。

私がこの業界に入ったのが、40年前の20代からです。この40年間、時代の変化のスピードが大変早く感じられ、時々時代に取り残されているような気持ちになります。この40年間といいますと本当に色々な人にお世話になったと思ひ、感謝しかありません。

20代から地区協会の青年部、県協会の部会等参加する機会をいただき、その時々のお出合い、人間関係が私の財産になっているような気がします。

これからも新しいお出合い、人間関係を一層大切にしてお自らの会社はもとより、建設業界発展に少しでも役に立てたらと思ひます。

これからも宜しくお願いします。



この写真は石川県建設業協会野球大会（平成5年6月2日）に当時の鶴来建設業協会チームとして参加した時の集合写真です。（本人＝前列右から3人目）

## 野村幸平 (昭和47年2月13日生)

大三建設株式会社 代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

今年は西暦2020年、令和最初の新年、また東京オリンピック・パラリンピック開催と節目の年であります。

私は1972年（昭和47年）生まれ、時の流れは速いもので、今年が4回目の年男になります。

これまでを振り返り、忘れられないのが前回12年前2008年7月、豪雨で浅野川が氾濫し、農林・土木を中心に甚大な被害に見舞われた年です。当時、私は昼夜問わず社員とともに復旧作業を行い、その作業中に地域住民の方々からたくさんの感謝と労いの言葉を頂きました。その時、改めて建設業に携わる者として地域の安全安心を守っていくことに今後も努めていきたいと決意新たにすることを思い起



於：新国立競技場（本人＝前列左から3人目）



こします。

そして、この12年間に県内では、長寿命化対策や減災防災等の工事が行われ、その成果も上がってきております。幸いにも県内においては当時以上の災害こそないものの、他県における昨年の台風被害を鑑みると決して安閑としてられません。これからも石川県の発展と災害に強い街づくりに建設人として寄与できるように社員とともに歩んで行きたいと思っております。

最後に、本年も皆さんにとって素晴らしい1年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

## 真柄卓司 (昭和47年6月24日生)

真柄建設株式会社 代表取締役社長

明けましておめでとうございます。

本年はねずみ年ということで、ねずみ年生まれの性格を調べてみますと「明朗で、楽天的で、どんな過酷な環境に置かれようとも、くよくよ考えこまずに生き抜く順応性を発揮」とありました。

今までの自分を思い返してみますと、なるほどと思う部分が多いような気がします。

今まで様々なことがありましたが、多くの方のご支援や叱咤激励があり、今日の自分があります。本年も感謝の気持ちを忘れず、考えすぎず、明朗に、微力ではありますが建設業界の発展に寄与できればと思っております。

また私生活では、父と同じく写真を撮りに行くようになりました。主に風景を撮りに行くのですが、撮影時は仕事の事も忘れて撮影に没頭し、いい気分転換になっています。掲載した写真は私が写真にのめりこむきっかけとなった写真です。

まだまだ至らぬ点の多い私ですので今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご繁栄を心より祈念しております。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



## 寺田道生 (昭和59年5月15日生)

石川建設工業株式会社 常務取締役

新年明けましておめでとうございます。

令和になり最初に迎える新春は、新たな時代のスタートだと感じながらこれからの未来に向けて日々成長して行きたいと思っております。

昨年度は、ラグビーワールドカップが日本を一つにしました。ラグビー用語の中に、「One for All・All for One」がありますが、一人はみんなのために、みんなは一つの目的のためと言われております。建設業界では担い手・働き方改革など変化の時代になっています。これらの変化に企業が頑張っていくことと共に建設業界全体で一つの目的のために向かって行けば良い結果に繋がると思っております。

私自身のことですが、「和」の漢字が好きです。これは父親でもある社長が言っていたことですが、和には和算の言葉がある様に、プラスの意味を持っており、人の力を足していく事で力が大きくなる。また、和には仲良くとの意味もあるので、和の心を大事に精進していきたいと思っております。





## ◆ 今月のトピックス ◆

### 谷本知事を囲む懇談会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、12月23日(月)午後3時30分から、金沢ニューグランドホテルにおいて、谷本知事を囲む懇談会を開催した。懇談会には、県側から谷本正憲知事、竹俣隆一土木部長、鈴木 穰技監、畝本秀一参与、協会側から小倉会長以下、県・地区協会役員60名が出席した。

冒頭、小倉会長は、「今年も、記録的な台風や豪雨により、全国的に多くの犠牲者が出るとともに甚大な被害が発生し、改めて日本列島の脆弱さを痛感するとともに、県民の安全・安心を確保するための「地域の守り手」としての社会的使命を果たしていかなければならないとの思いを強くした。今後も、行政とのパートナーシップのもと相互に連携・協力し、インフラの整備や維持管理を通じて、引き続き、社会的使命を果たして参りたい。」と挨拶、続いて谷本知事が、「昨今の自然災害の発生状況を見ていると、地方の安全・安心を確保するために公共事業はなくてはならない存在であると感じる。防災・減災、国土強靱化は大きなテーマであり、しっかりとした対策を進めていかなければならない。特に、河川の治水対策に関しては、国も重要性を理解を示し補助事業として来年度予算に計上されることとなった。これは大きな前進である。県としても、県内の様々な基盤整備にしっかりと取り組んでいきたい。」と挨拶した。

引き続き要望懇談に入り、協会側を代表し山岸 勇専務理事が要望書に基づき、公共事業予算の継続的・安定的な確保、防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進、地元建設業者の受注機会の確保など8項目について要望を行ったほか、各地区の協会長がそれぞれの地域が持つ重点的な要望事項について説明を行い、知事及び土木部幹部がこれに答える形で進められ、平櫻 保副会長の挨拶で閉会した。

なお、県協会の要望、地区協会の要望一覧については次のとおり。

#### ○石川県建設業協会の要望書

##### 要 望 書

平素より本県建設産業の振興発展に格段のご理解ご尽力をいただき、また、当協会に対しご指導ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本県の公共投資については、実質当初予算として1千2百億円を超える事業費に加えて、補正予算にも積極的に公共予算を確保され、北陸新幹線の県内全線開業を見据えた道路、港湾などの交流基盤整備や、安全・安心を確保するための防災・減災基盤整備など、公共事業を積極的に推進していただ



懇談会会場



谷本知事及び県土木部幹部

ております。

心より敬意と感謝を申し上げます。

また、7年連続の設計労務単価の引き上げをはじめ、改正品確法運用指針の指導・強化により、最低制限価格の範囲拡大など、着実に入札契約制度の改善が図られてきています。県ご当局のご高配とご尽力に改めて感謝申し上げます。

さて、地方の建設産業は、災害や除雪など、県民の安全・安心の確保や地域社会を維持していくため地域の経済や雇用を支える大きな役割を担ってきました。今年も全国的に台風、

豪雨災害など自然災害が頻発する中、防災・減災、国土強靱化対策を進める「地域の守り手」として、また、高度経済成長期に集中して作られた道路や橋梁などインフラ老朽化対策の唯一の担い手として、地域建設産業の果たす役割はこれまで以上に大きくなっています。

建設産業界の喫緊の課題は、働き方改革と生産性の向上にあります。現在、県協会として、若者から選択される職場づくりに向けて、休日の確保など就労環境の改善やICTの導入・推進などに鋭意取り組んでいるところです。

今後とも行政とのパートナーシップのもと、相互連携・協力し、社会インフラの整備と維持管理を通して社会的任務を果たしていく所存であります。

県におかれましては、公共事業予算の継続的・安定的な確保と、工事ごとに適正な利益を確保できるような入札契約制度の更なる改善に向けて、以下の事項について格段のご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 公共事業予算の継続的・安定的な確保
2. 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
3. 地元建設業者の受注機会の確保
4. 改正担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
  - (1) 予定価格の適正な設定と適時・適切な設計変更
  - (2) 工事発注及び施工時期の平準化
  - (3) 最低制限価格の上限撤廃と更なる引き上げ
5. 安心して災害活動を行うための災害協定の見直し
6. 週休2日制の導入に向けた環境整備
7. ICT活用工事を推進するための取り組みの充実
8. 除雪体制を維持するための支援拡充

令和元年12月23日

石川県知事

谷本正憲 殿

一般社団法人 石川県建設業協会  
会長 小倉 淳

## ○地区協会要望事項一覧

### 【金沢建設業協会】

世界の交流拠点都市金沢の早期具現化  
建設業における働き方改革への支援  
生産性向上に向けた取り組みの市町への支援  
道路除雪に際しての管理者間の連携強化  
建設発生土の再利用の促進

### 【加賀建設業協会】

国道8号加賀拡幅工事及び福井県境部の整備促進について  
大聖寺・加賀温泉駅間道路(大聖寺道路)の整備促進について  
南加賀道路の整備促進及び加賀インター線の冬期交通の安全確保について  
動橋川河川改修事業及び柴山濁周辺片山津温泉地域の浸水対策事業の整備促進について  
二級河川の適正な維持管理について  
主要地方道小松山中線の整備促進について  
国道360号(飛騨地域～小松空港間)の早期事業化について

### 【小松能美建設業協会】

梯川河川改修の整備促進について  
国道305号の梯川・小松新橋の早期架け替えと4車線化について  
木場潟公園東園地の整備促進について

金沢港と南加賀地域を結ぶ海岸沿いの「加賀海浜産業道路」の整備促進について

能美東西連絡道路の整備促進について

川北縦貫道路の整備促進について

国道416号の安全対策の構築について

国道360号(飛騨地域～小松空港間)の早期事業化について

### 【白山野々市建設業協会】

地域振興と暮らしを支える社会資本整備の促進について

安全・安心の確保に向けた防災基盤の充実について

### 【河北郡市土建協同組合】

「(宇ノ気内灘～高松七塚海岸)の浸食対策」について

「かほく東西幹線道路」の整備促進等及び延伸工事について

「かほく市東西間横断アクセス道路」の整備促進について

「一般県道高松・内灘線(内灘町白帆台地内～かほく市白尾地内まで)、(かほく市七塚生涯学習センター～かほく市木津地内まで)」の道路整備促進について

「大野川右岸」の堤防整備促進について

「主要地方道松任宇ノ気線(内灘町宮坂地内宮坂交差点～西荒屋小学校手前まで)」に於ける消雪設備の工事促進について

「二級河川能瀬川の河川改修」の早期着手について(津幡町上矢田地内～中山地内まで)

「主要地方道高松津幡線(津幡町加茂地内～JR本津幡踏切)、(津幡町加賀爪交差点～JR津幡駅)」における消雪設備の工事促進について

「一般県道中尾津幡線」に係る交差点の安全安心に向けた取組みのご検討について(津幡町浅田交差点)

「興津残土処理場」の活用促進について(津幡町興津地内)

### 【羽咋郡市建設業協会】

「のと里山海道」4車線化の整備促進

国道249号直海荒屋道路2期区間(豊後名～荒屋)の整備促進

国道415号(宝達志水町杉野屋～羽咋市神子原町県境)改築工事の整備促進と新規事業化

押水羽咋海岸(千里浜海岸)の浸食対策の促進及び増穂浦海岸浸食対策工事の早期着手

二級河川宝達川の改修及び新規事業化

### 【七尾鹿島建設業協会】

平成30年及び令和元年発生の災害復旧工事の早期完了について  
道路整備の促進について

河川改修及び砂防事業の促進について

七尾港の整備促進について

### 【鳳輪建設業協会】

広域交流幹線軸道路網の整備促進について

地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について

砂防・地すべり・急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について  
港湾・漁港の整備促進について

二級河川の適正な整備と維持管理について

越波対策並びに海岸浸食対策について

### 【珠洲建設業協会】

能登自動車学校(能登町松波)の存続について

地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について(珠洲市管内)

地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について(旧内浦町管内)

河川改修と海岸保全施設の整備促進について

津波対策の支援について



## 令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.1

施工企業名：株式会社のとさく

■工事名 二級河川若山川 広域河川改修工事  
(河道掘削4工区)

■工事分野 河川工事

■施工場所 珠洲市野々江町 地内

■工事概要

施工延長 L=120m

掘削工 V=4,200m<sup>3</sup>

■工期 平成30年3月16日～平成30年6月18日

■推薦理由

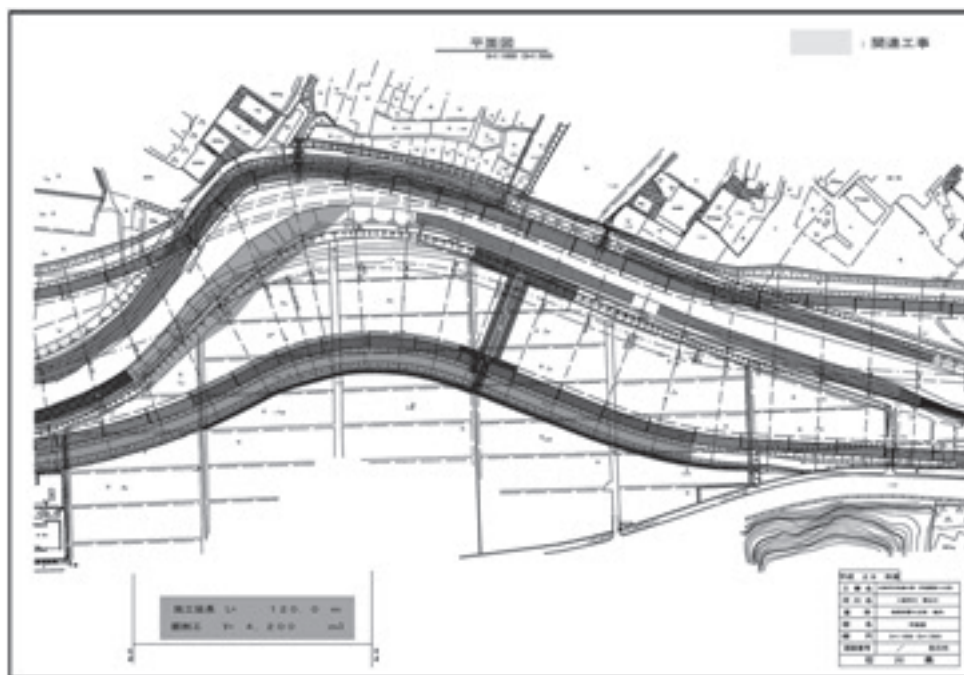
当該工事は、洪水の安全な流下を図るため、河積を増大する河道掘削を行う工事である。施工にあたっては、ICT建機による掘削を提案する等、積極的な新技術活用により施工管理及び生産性の向上を図り、また、珠洲地区において、初のICT建機による工事であったことから、地元業者を対象に、現場説明会を実施し、地域への貢献に努めた。さらに工区隣接地で、地盤高が低く降雨時に滞水する箇所については、みお筋部まで素掘り側溝を整備し、排水効果を向上させ、周辺環境への配慮を図った。



着工前



完成



平面図



現場説明会1



現場説明会2



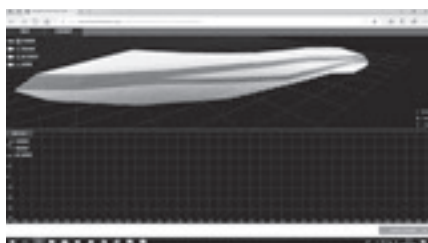
現場説明会3



素掘り完成(1)



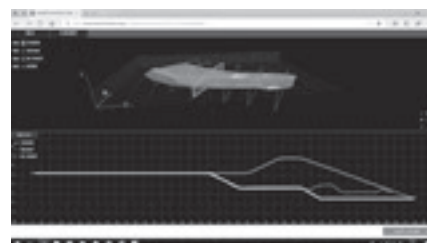
素掘り完成(2)



完成図



現在5.1



図面(断面)

■現場代理人のコメント



現場代理人  
中矢 卓氏

この度は知事表彰という過大な表彰を頂きまして、大変感謝しております。

ご指導を賜りました奥能登土木総合事務所の担当監督員並びに職員の皆様、協力業者の方々や近隣住民のご理解とご協力に心より感謝と御礼を申し上げます。

本工事の施工にあたり、ICT建設機械による施工を検討したところ高額な機械リース料など採算的に不安はありましたが、今後必要な新技術であり是非経験したいとの思いで、担当監督員へICT建機による施工を提案させていただきました。

ICT建設機械による施工は珠洲地区では初めてということもあり、現場説明会を開催しました。当日は、地元業者25名、市・県職員19名の参加を頂き、コマツ石川の協力でICT建機の説明や実際に搭乗しての操作体験も行いました。質問も多数寄せられ新技術への関心の高さを感じました。

丁張の必要が無いことから作業効率が上がることは予想していましたが、予想以上に施工管理や生産性の向上を図ることが出来ました。

また、工区隣接地において、新堤防の樋管の水位が既設堤防の吐出し口と合わず滞水が起こる箇所があり、短時間の降雨でも田んぼに逆流する現象が見受けられたので、既設堤防の端に新たに素掘りで水路を作ることで河川への排水がスムーズになり、滞水が解消できて耕作者の方々に喜ばれました。

この栄誉を励みに、安全で良い品質の施工を心掛け、これからも地域の方々にも喜ばれる仕事を行っていききたいと思います。関係者の皆様本当にありがとうございました。



## 雇用改善コーナー

### 金沢市立工業高校生との意見交換会の開催

(一社)金沢建設業協会(会長 橋本和雄)は、12月13日(金)、金沢市立工業高等学校を訪問し、同校土木科2年生との意見交換会を開催した。

意見交換会は、建設業界全体で今後も技術者不足が続く中、若い世代に建設業の魅力を伝え、人材確保につなげる目的で金沢協会の青年委員会が主体となり開催している。会には青年委員会の他、金沢協会役員、県協会役員が出席した。

冒頭、梅谷基樹青年委員長が挨拶で、建設産業の役割・魅力について説明するとともに、地元会員企業への入職を呼び掛けた。

続いて、同校の昨年度の卒業生で辰巳建設株式会社の左部 竜士さとりりゅうと氏が「仕事について」と題し、自身の1日の仕事内容や職場環境についてパワーポイントを使って説明した。

その後、生徒は5つのグループに分かれ、青年委員会情報発信セクションのメンバーと意見交換を行った。生徒からは、「休日は?」、「給料は?」、「仕事内容は?」、「男女で仕事に差は?」など多くの質問がなされ、青年委員会のメンバーが丁寧に回答するなど、活発な意見交換が行われた。

最後に、青年委員会情報発信セクションの北川吉博サブリーダーが挨拶し閉会となった。

なお、意見交換会に先立ち、就業体験報告会並びに測量コンテスト構内予選の表彰式が行われた。



### 石川県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、(一社)羽咋郡市建設業協会(会長 小倉 淳)・(一社)七尾鹿島建設業協会(会長 田村行利)と合同で、12月13日(金)、石川県立羽咋工業高等学校を訪問し、建設造形科の1年生25名、同じく建設造形科の2年生26名と意見交換会を開催した。

建設産業の若年人材確保を目的とした同校との意見交換会は継続的に行われており今年度で7回目の開催となる。県協会、羽咋郡市協会、七尾鹿島協会から24名が参加した。

最初に2年生との意見交換会が行われ、寺井建設(株)の寺井 誠氏から「入職してからの歩み」と題し、現場監督の仕事の内容などをご紹介をいただいた。

その後、生徒が5つのグループに分かれて、会員企業の経営者並びに若手職員と意見交換を実施した。生徒からは、「現場監督の魅力」、「労働時間」、「女性でも活躍できるか」などの質問が出され、これに対して



企業側が丁寧に回答し、加えてコミュニケーションの大切さなどをアドバイスした。

続いて行われた1年生との意見交換会では、今回初めての試みとして、建設現場で活用されている先端技術に触れることで建設業への興味をさらに持ってもらうことを目的とし、VR体験、ドローンの紹介及びミニドローンの操作体験を実施した。生徒は、初めて触れるVRやドローンに緊張しながらも、担当した若手職員の説明を聞きながら実践していた。最後に生徒代表から感想発表が行われ閉会となった。

## 石川県立小松工業高校生へ企業ガイダンスの開催

(一社)小松能美建設業協会(会長 堀 伸市)、(一社)加賀建設業協会(会長 田畑秀樹)は、合同で12月17日(火)、県立小松工業高校を訪問し企業ガイダンスを開催した。

この日は、両協会役員、会員、会員企業の若手職員、県協会役員が参加し、同校建設科の2年生40名と交流した。

ガイダンスでは、生徒が8つのグループに分かれ、各企業テーブルを順番に回って、各社の担当者から企業の歴史や仕事内容、地域貢献活動、会社の雰囲気などについて説明を受けた。各社からは、自社の強み、先端技術の紹介や、「家族や恋人、自分の時間を大切にしてほしい」と残業実績ゼロの社風などを紹介していた。

ガイダンスの後、生徒からは、「自分が思っていたよりも建設業が良い仕事と分かり、夢が広がった」などの感想が述べられた。

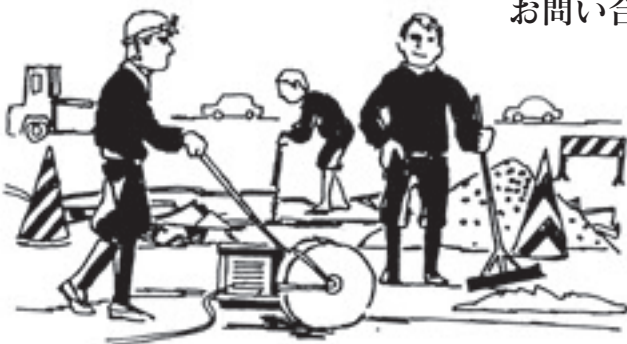
最後に加賀建設業協会の田畑会長が「やりがいのある仕事でないと続かない。建設業は社会を支える大事な仕事。学校で学んだことを生かせるし、この業界に1人でも多く入ってほしい」と挨拶し閉会した。



## 不慮の災害事故発生にそなえて

### 全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



#### 石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F



## 地区協会コーナー

# 「ふるさとの建設産業を知ろう～ふるさとが君たちを待っている～」 高校生体験学習について

(一社)珠洲建設業協会

建設業界では現在人口減少・少子高齢化が進行し、担い手不足が重要な課題となっている中、当協会では、若い世代に建設産業の仕事に興味を持ってもらい、新たな担い手確保につなげようと、飯田高校総合学科1年生に3回にわたり特別授業を開催した。

1日目は、奥能登土木総合事務所より2級河川の改良工事について目的や効果などを説明し、また、体育館で最新のレーザー測量機を実際に使い床一面に大きな文字作成作業を体験した。

2日目は、ドローンで校舎を空撮した3Dデータ作成や建設ICTを学び、その後若山川河川工事に使用しているICTバックホウのアームを実際に操縦し、掘削作業を体験しました。また、体育館ではドローンを使ったホバーリングや旋回をして、操縦体験学習も行われた。

3日目は工事現場見学会を開催し、主要地方道大谷狼煙飯田線の「寺家バイパス」を見学し奥能登土木担当職員より道路の概要や道路必要性を学び、次に蛸島漁港を訪れ堤防や消波ブロックの必要性や重要性を学んだ。

3日に亘り、飯田高校の校長先生をはじめお世話頂いた先生方のご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。生徒たちに建設業の必要性やふるさとに貢献する建設産業に理解を深めたと思います。



### 【アンケート結果一例】

「今回の講義や体験で建設業に対しイメージはどのように変わりましたか？」

よくなった55%  少し良くなった32%

変わらない13%

「その理由を教えてください？」

- ・全く分からなかった事が体験をして知ることができた。
- ・建設業がどのような仕事かよくわかった。
- ・危険なのかなと思っていたけれど意外と安全だという事が分かった。

- ・新3Kが良かった、人の安全に繋がる仕事もいいと思った。
- ・建設業の人たちがいないと冬の生活が出来ない事が分かりました。
- ・とても大変だと思っていたが話を聞くととてもやりがいを感じて、いい仕事だと思った。
- ・受ける前は危険な仕事というイメージしかなかったが、その現場にいるメンバーと協力して「地図に残る」という事をされていて、カッコイイと思いました。
- ・建設業の方たちがいないと、この世の中は成り立っていない事を知った。

等たくさんの嬉しいご意見を頂きました。



## 会員リレーコーナー

### ①93 株式会社石川建設

(所在地：石川県河北郡津幡町字杉瀬二107-1)



## 株式会社 石川建設

社章

弊社は石川県河北郡津幡町に所在し、河北郡市と金沢市近郊を中心に土木工事を主とした総合建設業を営んでいます。主に公共工事や宅地造成工事など幅広い業務を行い、安全かつ品質の高い工事を提供することで、地域の皆様が安心して暮らせる住みよい町づくりに貢献することを目的に、地道に歩んでまいりました。おかげをもちまして、2019年10月1日に創業50周年を迎えることができました。ひとえに関係者の方々および従業員とその御家族にご支援をいただいた結果だと深く感謝しています。これを機に従業員一同決意を新たに、今一度創業の精神に立ち返り、ご愛顧にお応えしていく所存です。

私どもは従業員13名程度の小規模な会社ではありますが、それゆえ家族的な雰囲気大切に、お互いが気兼ねなく意見を言い合えるチームメンバーとして働かせていただいています。現在は60歳以上の熟練従業員が多く70歳で働いている者もいます。その一方で若い従業員は少なく、担い手を育成していくことが今後の課題となっています。加えて、建設業界を取り巻く環境は年々と変化し、そのニーズも日々変化してきている状況の中で、スピード感と柔軟性をもって様々な企業課題に取



創立50周年記念慰労会

り組んでいかなければならないと感じています。「地域の生活と安全・安心の向上に尽くす」という確固たる信念のもと、一層信頼される会社となるべく、技術継承・新技術の習得に力を注ぐ考えであります。又現場において安全で高品質な施工をお届けするベストパートナーとして日々精進、そしてチャレンジし続けたいと思っております。

さしあたり、近年は頻発する集中豪雨や巨大台風、記録的な降雪など災害リスクの増大が懸念されています。とくに山間地、過疎地、高齢化の進む地域を中心に、建設企業が災害時に果たすべき役割はますます大きくなっています。また、既存インフラの老朽化が深刻化することから長寿命化、老朽化対策などの施策を講じる必要もあります。建設産業はこれらの担い手であるとともに、これまで災害から地域の安心、安全を守る重要な役割を果たしてきました。これからも、災害時の初動対応、道路啓開などに不可欠な建設企業が地域にバランスよく存続し、その地域に密着し実情に通じた建設企業として活躍していくことが必要だと感じています。私どもは、こうした期待に責任を持って応えていく所存です。何卒、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次回は大和建设株式会社 代表取締役 池田征舟さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願います。

(株式会社石川建設 代表取締役社長 石川博彰)



今月の「輝き！」さん  
No. 58



株式会社 北都組	はるか 大宮榛華さん
業 種：工事部工事課	
経験年数：2年9ヶ月	
年 齢：21歳	

金沢市泉本町5丁目の(株)北都組本社に今月の輝きさん 大宮榛華さんを訪ねました。

—まず、株式会社北都組について教えてください。  
株式会社北都組は、金沢市泉本町5丁目に本社を置き、トンネル工事、海岸・港湾工事、道路工事、河川・砂防工事、鉄道工事など、海から山まで幅広く土木工事を手掛ける会社です。創業は昭和9年で、中能登、白山、南加賀、奥能登に営業所があります。私は、本社工事部工事課に所属しています。

—あなたの経歴と会社への入社動機について教えてください。  
私は、内灘町で生まれ、地元の小、中学校を経て金沢市立工業高校土木科に入学しました。工業系の学校を選んだ理由は、高校卒業後は就職を希望していたことに加え、同校の建築科に在籍していた2歳上の兄の勧めがあったからです。卒業後の就職先は県内企業を考えていたので、先生のアドバイスも頂きながら、学校の先輩も働いている北都組に決めました。

—工事部工事課所属ということですが、仕事の内容について教えてください。  
道路工事や河川改修工事等の現場で、上司や先輩の指導の下、現場監理の仕事をしています。まだ入社して3年目なので毎日が勉強です。

—入社して3年になろうとしています。今の気持ちは？  
現場で構造物が完成していくことにとってもやり甲斐を感じます。自分が携わった工事が社会の役に立っていると思うと大変嬉しく誇りに思います。また、最近の工事現場は、女性用トイレの設置など女性が働きやすい環境にも配慮されているので、特に不都合を感じることありません。

—建設業協会では、女性活躍社会の実現を目指して「女性技術者のつどい」など女性が働きやすい環境づくりのための取り組みを行っていますがどう思いますか？

昨年10月に開催された女性職員対象の現場見学会に参加することができました。金沢港クルーズターミナルでは、同年代の女性技術者から工事の概要等について説明がありました。土木と建築の違いはありますがとても勉強になりました。同業の女性同士が情報交換をする機会はとても有意義だと思います。

—休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

小学校、中学校とバスケットボールをしていました。高校では、女子のバスケットボール部がなかったので、男子バスケットボール部のマネージャーをしていました。今は、時々、母が所属している地元のママさんバスケットボールチームに参加させていただき汗を流しています。また、休日には友人と街に出かけ食事や買い物をしたりしてリフレッシュしています。

—最後に、将来の目標、夢は？

当面の目標は、2級土木施工管理技士の資格を取ることです。仕事に必要な資格をひとつでも多く取得してスキルを高め、後輩の良き手本になりたいと思います。そして、一日でも早く現場を任せてもらえるようになりたいと思います。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### 令和元年秋の褒章 (一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介

令和元年秋の褒章で、(一社)石川県建設業協会関係では、常任理事の福池正人氏が受章されましたので紹介します。

#### (1) 受章者

(一社)石川県建設業協会常任理事  
北能産業株式会社代表取締役会長 福池正人氏

#### (2) 受章者の功績

福池正人氏は、長年にわたり建設業に携わり県建設業協会の役員として業界の振興発展に貢献されました。

#### (3) 受章概要

12月17日(火)国土交通省において赤羽一嘉国土交通大臣から褒章の伝達を受けた後、夫人と共に皇居宮殿に参内し天皇陛下の拝謁を受けお言葉を賜りました。



### (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催

(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会が、12月23日(月)午後1時45分から、金沢ニューグランドホテルにおいて開催された。

冒頭、小倉 淳会長は、「今年も全国各地で記録的な台風や豪雨災害が発生し多くの犠牲者が出るとともに、各地に甚大な被害をもたらした。当協会では、国土交通省の要請に基づき、千葉県へのブルーシート、トラロープの物資応援、長野県千曲川決壊箇所への応急復旧に当たったが、協会員の迅速なご協力に感謝申し上げる。自然災害からの復興や国土強靱化のため、今年度の補正予算と来年度予算にしっかりと公共事業予算を計上することが閣議決定されたが、今後の端境期対策として大いに期待したい。」と挨拶した。

続いて、(公財)建設業福祉共済団理事長 茂木 繁氏から「建設共済制度」について説明を頂いた後、秋の褒章で黄綬褒章を受章された福池正人常任理事に役員一同による金杯が贈呈された。

議事では、はじめに新規入会希望者の審議が行われ、(株)砂山組の入会が承認され、大幸建設(株)の入会は承認を得ることができなかった。続いて事務局から令和元年度事業執行状況等について報告がなされ了承された。

引き続き開催された石川県総合建設業協同組合理事会では、事務局から令和元年度中間事業報告がなされ了承された。





## 令和元年度市町要望活動の実施

県協会と地区協会合同の市長、町長への要望活動を行いました。11月12日～14日に加賀地区及び河北地区、11月26日、27日には能登地区、12月18日に金沢市と延べ6日間にわたり、19市町に対して業界の実情を訴えるとともに、直面する課題などについて意見交換を行いました。

県協会からは小倉会長、平櫻副会長、江口副会長と山岸専務理事、各地区協会からは会長、副会長、理事の方々が参加し、公共事業予算の持続的・安定的な確保、国土強靱化地域計画の策定と事業推進、地元建設業者の受注機会の確保、新・担い手三法に基づいた適正な入札契約の執行、情報共有システムの積極的な活用、除雪体制を維持するための支援拡充などについて要望いたしました。

要望に際して、市町の首長または副市町長、及び関係部課長に対応をしていただきました。

全国的に自然災害が多発、激甚化している中、住民の生活を守るために、地域建設業が「地域の守り手」として活動していることへのお礼の言葉をいただくとともに、今冬の除雪対応についても協力のお願がありました。地域は地域自らの手で守るためにも、協会として、しっかりと対応する旨お答えをさせていただきました。

要望内容について、首長からは、自然災害の備えのため「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の継続について関係機関へ要望活動をされているお話があり、公共事業を推進するための持続的・安定的な予算の確保、地元建設業者への発注、改正品確法の適正な執行などについてご理解をいただくことが出来ました。

国土強靱化地域計画の策定についても、多くの市町で積極的な検討と早期策定に向けた準備を進めている旨のご説明がありました。

また今年新たに、除雪オペレーターの育成にもつながる自動車免許取得に関連して、能登地域の地元自動車学校の存続について支援要請をしたところ、関係市町からは前向きに検討している旨のご説明もいただきました。

白山市長はじめ多くの首長から、行政と建設業界が車の両輪となり公共事業の推進に向けた様々な取り組みを進めていこうとの力強い発言もいただきました。改めて、「地域の守り手」として使命、役割を認識するとともに、引き続き、協会としていしかわのインフラ建設と維持管理の両面から取り組みを進めていきたいと思っております。



山田白山市長へ要望



矢田津幡町長へ要望



泉谷珠洲市長へ要望

## 委員会の開催

### 土木委員会

#### ◎工事現地検討会班長会議（後期）の開催

土木委員会安全対策部会（部会長 林 登良夫）は、12月12日（木）、金沢市内会議所において、「工事現地検討会班長会議（後期）」を開催した。会議には、安全対策正副部会長及び班長と、アドバイザーとして土木委員会副委員長が出席した。

会議では、11月13日（水）と11月20日（水）の2日間にかけて11箇所の工事現場で行われた「工事現地検討会」で、参加者（発注者、設計コンサルタント、土木委員会委員、工事関係者など）から出された設計施工の疑問点や、積算上の課題、仮設計画の考え方、安全管理などの発言内容について、各班長から報告がなされ、改善を必要とするような事案については関係機関へ要望していくこととした。また、次年度以降の工事現地検討会の実施に向けた取り組み等について意見交換が行われ、散会した。

### 建築委員会

#### ◎金沢地区安全パトロールの開催

安全部会（部会長 連 友也）は、12月12日（木）、金沢港機能強化整備工事（金沢港クルーズターミナル）の工事現場にて、建築委員18名と（一社）金沢建設業協会の地区協会員2名、計20名の参加にて現場安全パトロールを行った。

クルーズターミナルの現場では県営繕課の三村健二専門員から金沢港の機能強化整備工事の概要を、設計担当の浦設計の寺田千恵さんから工事の概要と設計のコンセプトを、施工担当の豊蔵組の手塚博士さんから工事の進捗状況の説明があった。

その後、現場に移動し金沢港会館や散在したコンテナ上屋が解体された広大な敷地に聳え立つ巨大なクルーズターミナルに感動するとともに日本海の波の揺らぎをイメージした大屋根や外壁や送迎デッキ天井のグラデーション、レストランやセミナールームから金沢港全体を望めるように設置された巨大なガラス壁面の設置方法などの説明を受けた。

工事は外装工事が終了し足場も解体され令和2年春の竣工に向けて内装工事が順調に進められていた。

東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う大量のインバウンドや増大するコンテナ取扱量に対応するよう金沢港全体の機能強化が図られており来年の竣工時に金沢の交通結節点となる金沢港を再度訪れてみたくなるパトロールとなった。





## 土地改良委員会

### ◎石川県農林総合事務所への施策提案

土地改良委員会（委員長 真柄卓司）は、昨年11月の北陸農政局長、石川県農林水産部長等への施策提案に引き続き、12月2日(月)及び5日(木)、米田保宏南加賀農林総合事務所長、古西 広中能登農林総合事務所長、林 慎吾奥能登農林総合事務所へ「農業農村整備事業の推進に関する提案書」を手渡し、受注機会の確保などを要望した。

要望事項は、北陸農政局長、石川県農林水産部長等への施策提案と同様の

1. 受注機会の確保
2. 品確法運用指針の徹底
3. 農業農村整備事業予算の確保

の3項目で、「県における豚コレラ対策への協力」について報告した。

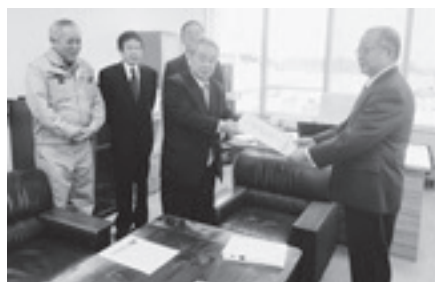
各農林総合事務所長からはそれぞれの項目についてコメント頂くとともに、事務所における提案内容に対する取り組み状況や方針等について意見交換を行った。



南加賀農林総合事務所長への提案



中能登農林総合事務所長への提案



奥能登農林総合事務所長への提案

## 建設青年委員会

### ◎全国建設青年会議第24回全国大会への参加

12月6日(金)午後2時より、全国建設青年会議第24回全国大会が九州建設青年会議の主催により、リーガロイヤルホテル東京にて開催された。来賓には赤羽一嘉国土交通大臣、佐藤信秋、足立敏之参議院議員、国土交通省並びに各地方整備局調整官等25名、全国建設青年委員554名余の出席があった。北陸ブロックからは46名、石川県からは北川委員長をはじめ14名が参加した。

開会にあたり、幹事ブロックを代表して高野大介大会長より挨拶があり、来賓を代表し赤羽一嘉国土交通大臣の祝辞をいただき、その後、次のスケジュールで執り行われた。



- ・特別講演 演題 「『働きたい建設業』に向けた国土交通省の取組」  
講師 国土交通省 技監 山田 邦博 氏
  
- ・基調講演 演題 「デミーとマツ式 伝わる土木広報」  
講師 噂の土木応援チームデミーとマツ 出水 亨 氏  
噂の土木応援チームデミーとマツ 松永 昭吾 氏
  
- ・パネルディスカッション  
テーマ 子どもたちへ建設業の未来を繋ぐために  
～「働きたい建設業」をつくる～  
コーディネーター 噂の土木応援チームデミーとマツ 出水 亨 氏  
噂の土木応援チームデミーとマツ 松永 昭吾 氏  
パネリスト 事業構想大学院大学学長 田中 里沙 氏  
国土交通省 大臣官房技術審議官 東川 直正 氏  
第24回全国大会会長 高野 大介 氏
  
- ・大会宣言

## ◎役員会並びに北陸地方整備局長との意見交換会の開催

北陸建設青年会議（会長 開 章夫（富山））は、12月10日（火）午後2時30分から新潟県建設業協会にて、役員会並びに北陸地方整備局長との意見交換会を開催した。

役員会では開会長挨拶の後、事務局より12月6日に開催された第24回全国建設青年会議全国大会並びに北陸地方整備局長との意見交換会について説明が行われた。

意見交換会では、来年度北陸ブロックが開催幹事となって開かれる全国建設青年会議第25回全国大会の企画書案について説明が行われ、続いて、北陸地方整備局より、台風19号に伴う災害の概要や対応、並びに公共事業関連予算等についての説明があった。

その後の意見交換では、AIやICT、IoTなど生産性向上に向けて建設業界としてどう取り組んでいくべきか？働き方改革の取り組み等について活発な意見交換が行われた。



## 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和元年分）

令和元年11月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	① 10	(18) 37	10	① (18) 57	① (16) 65	② 576
小松監督署	14	(5) 9	4	(5) 27	② (6) 27	① 182
七尾監督署	① 4	(6) 13	4	① (6) 21	(5) 20	① 109
穴水監督署	7	(2) 3	1	(2) 11	(8) 13	① 55
計	② 35	(31) 62	19	② (31) 116	③ (35) 125	⑤ 922
前年同期	① 25	① (35) 71	① 29	③ (35) 125		⑬ 1,065

( )内は木建工事 ○内は死亡者数

## 令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

(単位100万円)

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
9月分	167	232	72.0%	3,140	3,316	94.7%	3,307	3,548	93.2%
10月分	160	403	39.7%	4,877	2,405	202.8%	5,037	2,808	179.4%
11月分	139	186	74.7%	1,921	1,362	141.0%	2,060	1,548	133.1%
年度累計	2,207	2,405	91.8%	18,559	18,769	98.9%	20,766	21,174	98.1%
29年度累計		3,253	67.8%		21,945	84.6%		25,198	82.4%
28年度累計		3,459	63.8%		16,587	111.9%		20,046	103.6%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
9月分	4,688	5,066	92.5%	564	2,871	19.6%	5,252	7,937	66.2%
10月分	3,722	5,034	73.9%	399	773	51.6%	4,121	5,807	71.0%
11月分	3,538	2,836	124.8%	496	450	110.2%	4,034	3,286	122.8%
年度累計	33,486	28,955	115.6%	10,945	8,389	130.5%	44,431	37,344	119.0%
29年度累計		27,331	122.5%		13,643	80.2%		40,974	108.4%
28年度累計		35,347	94.7%		10,355	105.7%		45,702	97.2%

合 計（民間+官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%		令和元年度	平成30年度	%
9月分	8,559	11,485	74.5%	年度累計	65,197	58,518	111.4%
10月分	9,158	8,615	106.3%	29年度累計		66,172	98.5%
11月分	6,094	4,834	126.1%	28年度累計		65,748	99.2%



## 会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。

### ○新規入会

地区	商号又は名称	代表者名	所在地	電話番号	FAX 番号
河北郡市	(株)砂山組	砂山和義	929-1121 かほく市宇気イ90	076-283-0573	076-283-5379

### ○変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
(株)門寺建設	船本 修	門寺 秀次	令和元年12月6日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 令和2年1月行事予定

- 1月 2日(木) 谷本正憲石川県連合後援会 新年互礼会  
(金沢ニューグランドホテル)  
パーク・アンド・ライド(AM7:30~PM19:00)  
(~4日まで)
- 6日(月) 経済団体新年互礼会 (ホテル日航金沢)
- 14日(火) 建築設計等関連7団体合同新年互礼会  
(ホテル日航金沢)
- 17日(金) 全国建産連 協議員会  
(東京 東海大学校友会館)
- 18日(土) 建設現場におけるドローンの活用
- 20日(月) 会報編集委員会  
土木用コンクリート製品評価委員会  
(北陸地方整備局)
- 21日(火) 広報・研修委員会 (ホテル日航金沢)  
協会・組合合同新年会 (ホテル日航金沢)
- 22日(水) 建設業振興基金との事務連絡会議
- 23日(木) 事務担当者説明会  
事務担当者説明会 (白山野々市建設業協会)
- 24日(金) 事務担当者説明会 (加賀建設業協会)  
事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)  
土木委員会新年会 (和倉温泉)
- 25日(土) はせ浩新春国政報告会 (ホテル日航金沢)
- 27日(月) 事務担当者説明会 (河北郡市土建協同組合)  
建設業災害防止協会石川支部 安全祈願祭・新年会 (尾山神社・KKRホテル金沢)
- 28日(火) 事務担当者説明会 (珠洲建設業協会)  
北陸建設界の担い手確保・育成協議会石川県部会  
(金沢河川国道事務所)  
事務担当者説明会 (鳳輪建設業協会)
- 29日(水) 事務担当者説明会 (七尾鹿島建設業協会)  
事務担当者説明会 (羽咋郡市建設業協会)

- 30日(木) 「北陸の建設技術」第2回編集委員会  
(富山 富山防災センター)  
事務局打合せ

### 令和2年2月以降の行事予定

- 2月 3日(月) 正副会長会議  
常任理事会
- 4日(火) 金沢河川国道事務所との意見交換会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)  
富山県青年部新春講演会  
(富山 ホテルグランテラス富山)
- 5日(水) YouTubeを活用した情報共有と人材育成講習会  
開催について (~7日)
- 7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会  
(ホテル日航金沢)
- 8日(土) 富士教育訓練センター派遣事業 (~15日)  
(静岡 富士教育訓練センター)
- 14日(金) 建退共 事務担当者意見交換会  
(東京 TKP池袋カンファレンスセンター)
- 17日(月) ICT活用講習会 (経営者クラス)
- 19日(水) 令和2年度建設業経理検定等実施計画説明会  
(東京 建設業振興基金)
- 20日(木) 石川県と建設青年委員会との意見交換会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 25日(火) 建設業税財務講習会  
北陸建設業協会 事務局会議 (福井)
- 26日(水) 全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)
- 27日(木) 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会  
との意見交換 (新潟 アートホテル新潟駅前)
- 3月 2日(月) 全建 経営委員会 (東京 東京会館)
- 3日(火) 正副会長会議
- 6日(金) 全国建産連 総務委員会 (東京)
- 11日(水) 全国建産連 専門工事業委員会 (東京)

- 3月13日(金) 廃棄物講習会  
 18日(水) 全建 協議員会 (東京 経団連会館)  
 23日(月) 土地改良委員会 全体会議 (ホテル日航金沢)  
 26日(木) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 4月 3日(金) 正副会長会議  
 常任理事会
- 4月27日(月) 正副会長会議
- 5月11日(月) 理事会(建災防10:30・組合11:30・協会12:15)  
 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)  
 26日(火) 総会(建災防11:00・組合13:00・協会14:00)  
 29日(金) 全建 表彰式・総会・懇親会(東京 経団連会館)
- 6月23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議  
 (東京 霞が関ビル)
- 10月26日(月) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)  
 ②投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)  
 ③協会報の発行 毎月1日発行  
 (毎月10日前後納入、会員送付)  
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

## 地区協会からのお知らせ

### (一社)金沢建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月10日(金) デザインアワード表彰式  
 14日(火) 総務委員会  
 15日(水) テレビ講座  
 16日(木) 新年挨拶回り  
 17日(金) 青年：情報発信セクション  
 21日(火) 女性活躍推進準備部会  
 24日(金) 青年：技術防災セクション  
 25日(土) 市工公開課題研究発表会  
 28日(火) 協会・組合合同新年会  
 30日(木) 土木：運営委員会

### (一社)加賀建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月16日(木) 新年互礼会  
 24日(金) 事務担当者説明会

### (一社)小松能美建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月10日(金) 創立70周年記念講演会  
 新年会  
 24日(金) 事務担当者説明会

### (一社)白山野々市建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月15日(水) 理事会、新年互礼会  
 23日(木) 事務担当者説明会

### 河北郡市土建協同組合

#### 《行事予定》

- 1月 6日(月) 仕事始め  
 27日(月) 働き方改革講習会

### (一社)羽咋都市建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月24日(金) 協会・資材組合合同新年会  
 29日(水) 事務担当者説明会

#### 《お知らせ》

- 2月18日(火) 定期健康診断  
 20日(木) 監理技術者講習会

### (一社)七尾鹿島建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月 7日(火) 新年挨拶回り  
 17日(金) 新年会

#### 《お知らせ》

2月 5日(水) 監理技術者講習会  
 令和2年度は七尾鹿島建設業協会での開催は4月1日(水)・令和3年2月2日(火)の2回です。

### (一社)鳳輪建設業協会

#### 《お知らせ》

- 1月17日(金) 新年会  
 28日(火) 事務担当者説明会

#### 《お知らせ》

- 2月 5日(水) 正副会長会議、理事会

### (一社)珠洲建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月 9日(木) 新年挨拶廻り(～10日)  
 17日(金) 改正労働基準法等説明会  
 協会・組合 合同新年会